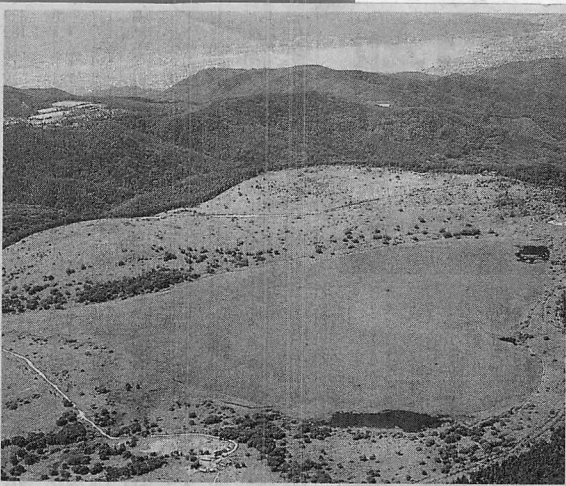


ハート形に見える八島ヶ原湿原。山の向こうは諏訪湖（下諏訪町提供）



「恋人の聖地」に八島ヶ原湿原 ハート地形や婚活事業評価

下諏訪町は5日、ハート形をした町内の国定公園八島ヶ原湿原がNPO法人地域活性化支援センター（事務局・静岡市）から今月1日付で「恋人の聖地」に認定された、と発表した。支援センターが少子化対策と地域活性化策として全国各地に認定するプロジェクトの一環で、県内10か所目。

同町では2010年8月に民間主導の「出会い・婚活プロジェクト」がスタート。町民17人が委員となり、男女の出会いの場を創出しようと独自の婚活事業に取り組んでいる。11年度は5回のイベントに男女各80人以上が参加し、7組のカップルが誕生した。

町によると、支援センターが人口増につなげようと展開する「恋人の聖地」認定活動を知った婚活プロジェクトメンバーからの提案を受けて、町が申請書を提出。婚活事業への取り組みや、ハート形の八島ヶ原湿原が聖地にふさわしいとアピールした結果、「熱心な活動が期待でき、今後の展開が楽しみ」などとして認定されたという。

八島ヶ原湿原は諏訪湖の北東に位置し、標高1540～1925㍎、総面積43・2㍎の高層湿原。1939年に国の天然記念物の指定を受け、国定公園の特別保護区になっている。

青木悟町長は「『恋人の聖地』の銘板は、環境省とも協議して最適な場所に設置したい。新たなカップルが誕生してくればありがたい」と期待を語った。町は今年度、同湿原などをデザインした出会いマップの作成も計画している。